

成果の説明書

(氏名) 伊藤宣広	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>[翻訳書]</p> <p>(1) (共著) マリア・クリスティーナ・マルクッツォ著、平井俊顕監訳『市場の失敗との闘い ケンブリッジの経済学の伝統に関する論文集』日本経済評論社、2015年7月。 (第1章、第2章、および第11章の翻訳を担当)</p> <p>[書評]</p> <p>(2) Carlo Cristiano, <i>The Political and Economic Thought of the Young Keynes: Liberalism, markets, and empire</i>, London and New York, Routledge, 2014, xvi+262pp. 『経済学史研究』57-2, 2016年1月。</p> <p>(3) 書評コラム：ケインズ『雇用・利子および貨幣の『一般理論』』、『総力ガイド！これからの経済学 マルクス、ピケティ、その先へ（経済セミナー増刊）』日本評論社、2015年9月。</p> <p>[未公刊の成果]</p> <p>(4) 2016年出版予定のケインズと投機に関する単著の執筆を進めた。</p> <p>[教育・社会貢献]</p> <p>2015年8月に高崎経済大学教員免許状更新講習を担当した。</p> <p>[学会における活動]</p> <p>ケインズ学会常任幹事</p>	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負 上記(4)未公刊の成果に記載した著書を出版することが当面の課題である。 その後は、ある重要な古典の翻訳を進める。	